



Calbee

カルビーグループ決算説明会
2023年3月期 第1四半期
2022年4月1日～2022年6月30日

©カルビーの代表産地である北河原郡で撮影しています。

TSE code : 2229
カルビー株式会社
2022.8.2

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

財務経理・IRを担当しております早川です。
私の方から、2023年3月期第1四半期の決算についてご説明いたします。

2023年3月期 第1四半期業績

握りだそう、自然の力。
Calbee

決算サマリ

対計画： 国内外スナック好調により、売上高・利益ともに計画達成

対前年同期： ■ **売上高** <国内> 社会経済活動の正常化に伴ってスナックが伸長し増収
<海外> 北米・中華圏が牽引し増収

■ **営業利益** <国内> コストの高騰を改定効果でカバーできず減益
<海外> 北米が貢献し増益
原材料価格・動力費の高騰 国内（△23億円）、海外（△10億円）

■ **当期純利益** 為替差益16億円

(億円)

	2023年3月期 第1四半期実績	2022年3月期 第1四半期実績	伸び率	2023年3月期 第1四半期計画	計画比
売上高	653	599	+9.1%	623	104.9%
国内	482	465	+3.8%	466	103.5%
海外	171	134	+27.2%	157	108.9%
営業利益	54	69	△22.7%	51	105.2%
営業利益率	8.2%	11.6%	△3.4pts	8.2%	+0.0pts
国内	47	63	△25.5%	45	104.8%
海外	6	6	+7.0%	6	108.1%
経常利益	70	70	△1.1%	50	139.7%
特別損益	△0	△0	-	△1	-
当期純利益 ※	46	50	△8.1%	31	146.9%

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

1

スライド1をご覧ください。

第1四半期は、食油をはじめとする大幅なコストアップが見込まれていたため、減益の計画を組んでおりましたが、実績はその減益の計画に対し、国内海外ともにスナックの販売が好調で、売上高は計画比104.9%の653億円、営業利益は計画比105.2%の54億円と、売上・利益ともに計画を上回ることができました。

前年に対しては、売上高は9.1%の増収となりましたが、営業利益は22.7%の減益となりました。

国内は社会経済活動の正常化に伴って、土産用製品が復調、コンビニエンスストアでの販売が伸長するなど増収効果に加えて、価格改定効果があったものの、コストアップ23億円をカバーできず25.5%の減益となりました。

海外は主に北米・中華圏での増収効果、各国での価格改定効果がコストアップ10億円を吸収し、7.0%の増益となりました。

当期純利益は、為替差益16億円の計上などにより、8.1%減の46億円となりました。

2023年3月期 第1四半期業績 国内事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

- **売上高** <スナック> ばれいしょ不足によりポテトチップスは減収となる中、土産用製品とその他スナックが好調で増収
<シリアル> 新製品が貢献、子供向け製品が不振で前年同期並み
<その他> 甘しょ事業が堅調に推移し増収
- **営業利益** 増収や価格・規格改定効果、スナックの販促抑制が貢献するも、原材料価格・動力費の高騰を吸収できず減益

(億円)

	2023年3月期第1四半期		
		前年同期比	
国内売上高	482	+18	+3.8%
スナック	440	+11	+2.6%
ポテトチップス	194	△2	△0.8%
じゃがりこ	95	+5	+5.7%
新価値製品・その他スナック	150	+8	+5.4%
シリアル	66	+0	+0.3%
その他（甘しょ・ばれいしょ・役務提供）	29	+1	+3.2%
リポート等控除	△53	+6	—
国内営業利益	47	△16	△25.5%
営業利益率	9.8%	△3.9pts	—

※「スナック」「シリアル」「その他（甘しょ・ばれいしょ・役務提供）」の売上高はリポート等控除前の金額を記載しています。

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

2

スライド2をご覧ください。

国内の製品別の売上高についてご説明します。
ポテトチップスは2億円の減収、じゃがりこは5億円の増収、
新価値製品・その他は8億円の増収となりました。
その他事業は甘しょ事業が堅調で1億円の増収となりました。

増減要因については次のスライドでご説明します。

2023年3月期 第1四半期業績 国内事業

握りだそう、自然の力。
Calbee

スナック

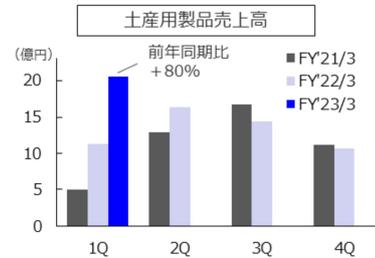
■ ポテトチップス・じゃがりこ：

- ポテトチップスは、ばれいしょ不足に伴う販促抑制期間の長期化で減収
- じゃがりこは、人流の増加により、コンビニエンスストアでのLサイズや期間限定品が好調で増収



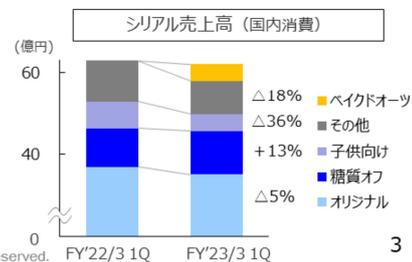
■ 新価値製品・その他スナック：

- 土産用製品は、国内旅行需要が回復基調にあることに加え、催事・物産展への積極展開で大幅増収
- コーン系・豆系スナックは、ポテトチップスからの需要シフトおよび新製品の寄与により増収



シリアル

- オートミール需要に対応した新製品「バイクドオーツ」を発売
- 「フルグラ 糖質オフ」は好調継続
- 子供向け製品の「フルグラ チョコクランチ & パナナ」等は減収



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

FY'22/3 1Q FY'23/3 1Q

3

スライド3をご覧ください。

ポテトチップスは、昨年の第1四半期もばれいしょ不足に伴い、販促活動を抑制していましたが、今年はさらにその期間が10日程度、長期化した影響で減収となりました。

じゃがりこは、行動制限の緩和によりコンビニエンスストアでの販売が好調でLサイズや、「のり塩バター味」などの期間限定品が貢献し、増収となりました。

新価値製品・その他スナックでは、「じゃがポックル」などの土産用製品が、国内旅行需要の回復と、催事展開や物産展への積極的な出店により、前年比80%増と大幅な増収となりました。

また、コーン系・豆系スナックが、ポテトチップスの販促抑制影響による需要シフトで伸長し、ひよこ豆を使用した「ピースピー」などの新製品も売上に貢献しました。

シリアルは、子供向け製品は振るいませんでしたが、オートミール需要の高まりに対応した新製品「バイクドオーツ」の投入や、健康を訴求した「フルグラ糖質オフ」の好調により、前年並みとなりました。

2023年3月期 第1四半期業績 海外事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

(億円)

<地域別実績>	2023年3月期第1四半期			
		前年同期比		為替影響除く 実質伸び率
海外売上高	171	+37	+27.2%	+12.4%
北米	56	+16	+40.6%	+19.9%
中華圏	56	+14	+34.2%	+17.0%
その他地域	82	+13	+18.4%	+7.9%
レポート等控除	△23	△7	-	-
海外営業利益	6.4	+0.4	+7.0%	-
営業利益率	3.7%	△0.7pts	-	-
北米	3.8	+3.3	+597.4%	-
中華圏	2.5	△0.1	△2.9%	-
その他地域	0.0	△2.8	△98.3%	-

※ 地域別の売上高はレポート等控除前の金額を記載しています。

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

4

スライド4をご覧ください。

海外事業の地域別売上高、営業利益はご覧の通りです。

北米は、現地通貨ベースで20%の増収、営業利益は前年の7倍の3.8億円となりました。中華圏は、17%増収、営業利益はほぼ前期並みの2.5億円、その他地域は、8%増収でしたが、営業利益はほぼゼロとなり、前年比2.8億円の減益となりました。

増減要因については次のスライドでご説明します。

2023年3月期 第1四半期業績 海外事業

掘りだそう、自然の力。
Calbee

北米

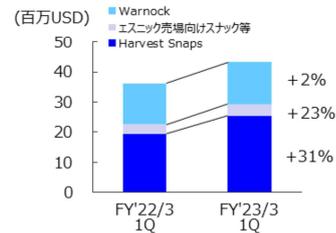
■売上高

- 「Harvest Snaps」は、マーケティング・プロモーション活動が奏功し好調
- エスニック売場向けスナックはコンテナの確保により増収

■営業利益

- 価格・規格改定と増収により増益

北米 売上高 (前年同期比+20%)



中華圏

■売上高

- ロックダウン解除に伴う出荷再開によりEC・小売店舗向けともに増収
- スナックは、「Honey Butter Chip」や「Jagabee」が好調
- シリアルは、「フルグラ糖質オフ」が伸長

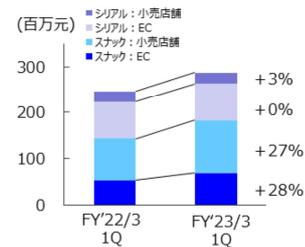
■営業利益

- 代言人を活用したプロモーション費用を積極投入



代言人に人気歌手の Layさんを起用

中華圏 売上高 (前年同期比+17%)



その他地域

- 売上高は、英国とインドネシアが貢献
- 営業利益は、輸送コストや原材料費高騰によりオーストラリア等が悪化し減益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

5

スライド5をご覧ください。

北米は、「Harvest Snaps」がけん引し、増収となりました。パッケージリニューアルや価格改定が消費者に受け入れられ、得意先への提案活動、販促施策が奏功し、数量が順調に伸長しました。営業利益は、増収効果と価格改定効果により増益となりました。

中華圏は、4月はロックダウンの影響で苦戦しましたが、ロックダウン解除に伴い、5月下旬からの出荷再開により増収となりました。スナックは、「Honey Butter Chip」や「Jagabee」、シリアルは、「フルグラ糖質オフ」が好調でした。営業利益は、人気歌手を起用したプロモーション展開などにより、ほぼ前期並みとなりました。

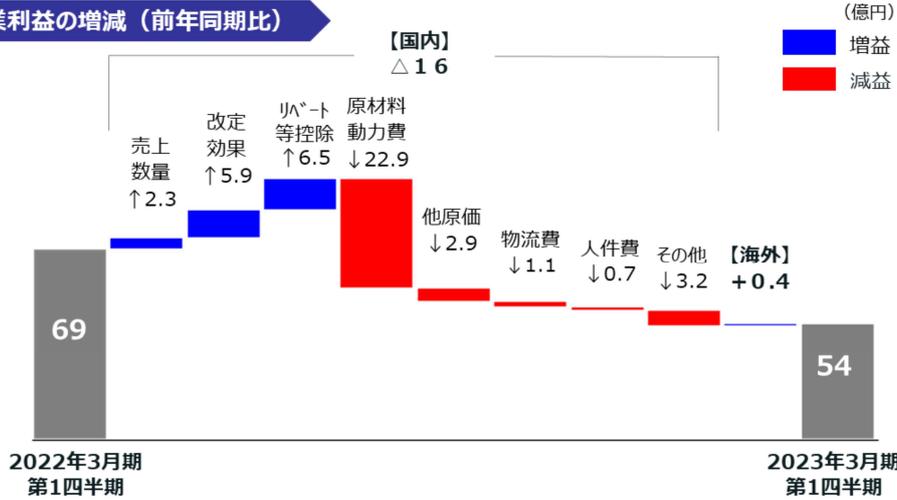
その他地域は、英国、インドネシアがポテトチップスなどの好調により増収となりましたが、営業利益は輸送コストや原材料高騰を吸収できず、減益となりました。

第2四半期以降、価格改定を進め、計画達成を目指してまいります。

2023年3月期 第1四半期業績 営業利益分析



営業利益の増減 (前年同期比)



- 【国内】**
 - リポート等控除 : ばれいしょ不足によりポテトチップスおよびじゃがりこの販促を抑制
 - 原材料・動力費 : 食油(△4億円)、輸入原料(△8億円)、包材(△3億円)、動力費(△5億円)
 - 他原価 : 減価償却費(△1億円)
- 【海外】**
 - 価格・規格改定効果(+8億円)
 - 原材料(△9億円)、動力費(△1億円)

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

スライド6をご覧ください。

営業利益の減少要因についてご説明します。

連結全体で16億円の減益となりましたが、これは国内事業が減益になったことによるものです。

国内は、ばれいしょ不足に伴う販促抑制6.5億円や、価格・規格改定効果5.9億円があったものの、食油や輸入ばれいしょ、包材などの原材料価格や動力費の高騰23億円をカバーできず、16億円の減益となりました。

海外は、原材料価格の高騰9億円、動力費の高騰1億円がありましたが、増収や価格改定効果がカバーし、前期並みとなりました。

2023年3月期の価格・規格改定

掘りだそう、自然の力。
Calbee

実施時期	2022年6-7月	2022年9月-10月	2022年11月
対象製品			
対象製品売上高	230億円	1,200億円	180億円
改定率	内容量：△10% 想定価格：+10-20%	想定価格：+10-20%	想定価格：+10-20%

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

7

スライド7をご覧ください。

最後に本日発表した国内スナックの価格改定についてご説明します。

実施時期は11月、「かっぱえびせん」や「サッポロポテト」など30アイテムを10-20%値上げいたします。これらは6月に内容量を変更し、実質値上げを行ったばかりの製品ですが、半年で再値上げを実行いたします。

以上でご説明を終了いたします。ありがとうございました。

参考資料

連結損益計算書

掘りだそう、自然の力。
Calbee

(百万円)

	2023年3月期 第1四半期			2023年3月期 通期計画			
		構成比 (%)	前期比 (%)	計画比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	65,323	100.0	+9.1	104.9	268,000	100.0	+9.2
売上総利益	21,126	32.3	△0.4	102.6	89,700	33.5	+6.8
販売管理費	15,763	24.1	+10.5	101.8	64,200	24.0	+9.1
販売費	2,269	3.5	+13.0	97.8	10,600	4.0	+28.0
物流費	5,326	8.2	+12.1	106.1	21,000	7.8	+4.8
人件費	5,000	7.7	+4.9	98.6	20,900	7.8	+6.7
その他経費	3,168	4.8	+15.4	102.9	11,700	4.4	+7.2
営業利益	5,363	8.2	△22.7	105.2	25,500	9.5	+1.4
経常利益	6,955	10.6	△1.1	139.7	25,000	9.3	△7.2
特別損益	△39	-	-	-	△500	-	-
当期純利益 ※	4,553	7.0	△8.1	146.9	15,500	5.8	△14.1

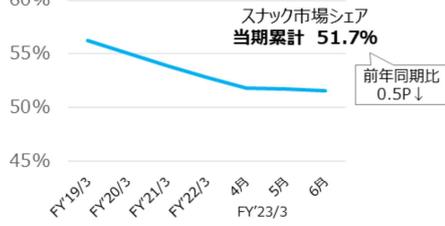
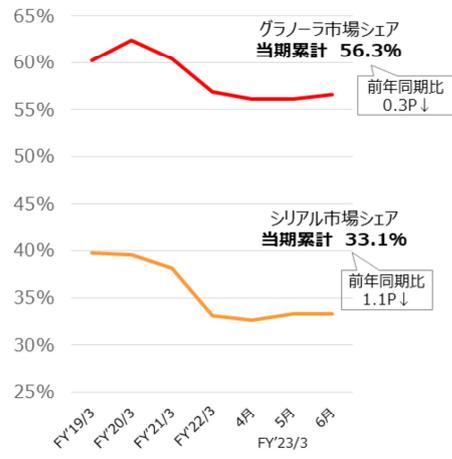
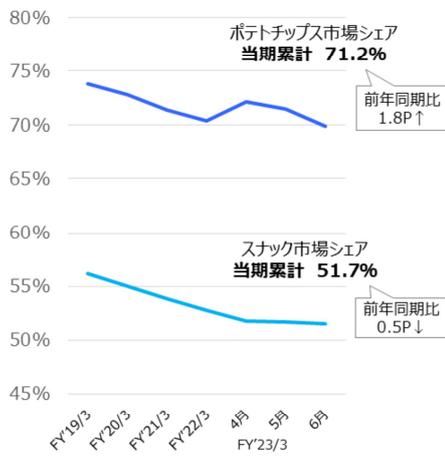
※ 親会社株主に帰属する当期純利益

Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

9

国内市場シェア

握りだそう、自然の力。
Calbee



出所：株式会社SRI+ 全国全業態 金額ベース
 当期累計：2022年4月～2022年6月
 前年同期：2021年4月～2021年6月
 FY19/3-FY22/3：2018年4月～2022年3月

スナック市場シェア：カルビーとジャパンフritoレーの合計
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュー・スト・ケトル合算、非公開PB含む
 グラノーラ市場：シリアル市場・グラノーラ・ココア

タイの製菓会社を買収～グローバルブランド「Jagabee」への布石

掘りだそう、自然の力。

Calbee

需要が拡大する中華圏への「Jagabee」の輸出強化を目的として、
タイの生産拠点を取得、2024年3月期に輸出開始を目指す

Calbee Tanawat Co.,Ltd.とともに、東南アジア・オセアニアにおける
重要な生産拠点・開発拠点としてグローバル展開を加速

Greenday Global Co.,Ltd.の持ち分取得

- 買収金額：12百万USD
- 取得割合：75%
- 株式取得：2022年7月



< Greenday Global Co.,Ltd.概要 >

- 設立：2010年
- 事業内容：野菜や果物などを原料とした
スナック菓子の製造販売
- 直近の業績（2020年12月期）：

売上高	300百万タイバーツ
純資産	184百万タイバーツ



Copyright © Calbee, Inc. All rights reserved.

11

本資料に関するお問い合わせ：

カルビー株式会社 IR部

E-mail：2229ir@calbee.co.jp

<https://www.calbee.co.jp/ir/>

- グラフ上の事業年度表記はFY(Fiscal Year)を用いています。FY2023/3(FY'23/3)は2023年3月期を指しており、他の事業年度も同様に表記しております。特にその指定がない表記は、暦年を表しています。
- 本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。

2022年8月2日開催
2023年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

【国内事業について】

Q1 価格・規格改定効果は期初の見通しから変化はないか？

1Qの改定効果は5.9億円で、ほぼ計画通り。高い需要が続いており、価格改定前後で販売数量に変化はない。現時点では、年間72億円の改定効果の見通しに変更はない。

Q2 原材料コストアップの見通しについて教えて欲しい。

1Qの国内のコストアップ影響は23億円で、ほぼ計画通り。パーム油の単価が下がった一方で、円安は進行。原材料価格・動力費で年間90億円のコストアップ想定から大きな変化はない。

Q3 北海道産原料ばれいしょの収量の現時点での見通しは？

作付け、生育状況は今のところ問題なく、計画通りの収量を見込んでいる。今期は収量を増やす計画だが、天候に左右されるため、今後の状況について注視していく。

Q4 土産用製品の回復状況について教えて欲しい。

1Qの売上実績は20.4億円で、前年同期比+9億円、計画比+3億円。国内旅行需要に加え、催事・物産展での積極展開もあり、回復している。

【海外事業について】

Q5 北米の好調は持続するとみてよいか？

「Harvest Snaps」が好調。価格改定後も販売数量が伸びている。大手得意先や食品スーパー、昨年拡大したダラーストア業態、いずれも売上が伸長している。20%程度の値上げをしたが、Better for you カテゴリでは値ごろ感あり。美味しさも評価されている。2Qに2回目の値上げを実施予定。北米の好調が継続し、その他地域の未達分をカバーできると考えている。

Q6 中華圏の2Q以降の見通しは？

1Qはロックダウンの影響で、ミューズリー等の一部製品展開が遅れた。2Q以降はプロモーション展開を進め、売上拡大により収益改善を図る。シリアルは「フルグラ糖質オフ」やミューズリー、スナックはBaby&Kidsの販売を強化したい。

Q7 海外のその他地域の価格改定状況は？

各国で既に主力製品の値上げを実施。英国は値上げ幅が大きいですが、販売数量は伸長。インドネシアはスナックのみ値上げをする計画だったが、競合の値上げに追随する形でポテトチップスも計画外で値上げを決めた。2回目の値上げも各国で順次進めていく。

以上